



## ステッカー **子育ては〇〇市**

### 大手運輸会社のトラックに張られています・・・

岐阜市内を走っていると、信号で停車した時に自分の車の前に、S運輸のトラックが停車する事があります。このトラックの後部ドアにステッカーが張ってあります。

「子育ては〇〇市」と。「子育ては岐阜市」とは書いてありません。西濃地域の自治体「〇〇市」です。

S運輸は岐阜市内でも多く見かけます。大企業ですから全国展開されていると思われるし、議会の出張先で見かけることもありますから、岐阜ナンバーのトラックが「子育ては〇〇市」のステッカーを張って全国を宣伝されていると思います。残念ながら岐阜ナンバーのトラックが「子育ては岐阜市」宣伝をしていただけていない。

### 岐阜市の福祉は 〇〇市 と比して 見劣りするの・・・？

宣伝の仕掛け人をお褒めするしかない。「自治体名を全国レベルに広げ、子育て世帯の移住を促す」ステッカー宣伝です。では、本当に「子育ては〇〇市」なのか？ 中核市岐阜市の子育て制度・サービス・システムは〇〇市と比して見劣りするの・・・？

子ども未来部にステッカー「子育ては〇〇市」は、気になりませんか？ と問いかけました。「見劣りする」なら、直ちに改善しなければなりません。し、「そうではない」なら「優れた制度」を「子育ては岐阜市」と岐阜市民に説明する機会を改善しなければなりませんし、岐阜市外の住民にも知って頂かなければなりません。子ども未来部に「〇〇市と岐阜市の子育てサービス比較資料」作成をお願いしました。

### 子育ては岐阜市 のステッカーを 岐阜ナンバーのトラックに

国としての人口減少は避けようのないところに来ています。ふるさと納税や、外国人労働者の課題なども、この人口減少と大きくかかわります。ですが、個別都市の人口減には都市の政策で減少への歯止めかけ、増加へ転じる方法があるはずです。

福祉政策への不断の努力と、岐阜市住民は勿論、市外の市民に「岐阜市に住みたい」と感じて頂ける機会を拡大すべきでしょう。岐阜市内には「子育ては岐阜市」のステッカーを見たいものです。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

# 「子どもの貧困」の調査

「子どもの貧困」が問われますが、岐阜市における現状調査資料を問い合わせましたのは2年ほど前です。子ども未来部の坂口部長（当時・現岐南町副町長）と意見交換しましたときは「岐阜市には無いです。県にも無いのではないかな？」「なかなか、難しいんです。内容など・・・」という状況でした。坂口部長は率直な物言い、有能な方で、「子ども政策の基礎資料として必要性はわかります。」との意見交換でした。

議会での視察などで、他都市の事例などを知り、再度質問。1年前に、調査費が予算化されました。この調査が「まとまった」との報告をお聞きしました。近く説明をして頂けるとの事です。岐阜市だけでなく、同種の調査が全国的に行なわれる事が、福祉政策の底上げにつながる事を期待します。

政府統計への信頼が揺らいでいます。政府統計数字を基とした「政府見解」「政府分析」への信頼が揺らいでいる時に、地方自治体・岐阜市は実態を把握した上での福祉政策を創造したいものです。

## 消費増税への実感が、まだ無い地方・・・？

左は広報ぎふ12月15日号に掲載された国の「複数税率対応レジ補助メニュー」記事です。昨年、ラーメン屋さんで「お店で食べる人と餃子を持ち帰るお客さんで税率が違い新レジを買おうと補助して貰えるか？」と聞かれ、商工観光部に訊くと「(市には) 無いです」が、後日「国にありました」と。

はじめに訊いた日は、「広報ぎふ」への掲載（商工観光担当）の日でした。

**中小企業・小規模事業者の皆さんへ  
複数税率対応レジ導入な  
どの経費の一部を助成**

来年10月1日に予定されている消費税率10%への引き上げに伴い、消費税軽減税率制度が実施されます。

中小企業・小規模事業者などに対して、複数税率対応レジの導入や受発注システムの改修などの経費の一部を補助する国の制度があります。ぜひ、ご利用ください。

詳しくは「軽減税率対策補助金事務局ホームページ」をご覧ください。

0570(081)2222



松原のりかず  
☎058-253-2500